

道

2021・5・19

通信 No 1635



カイドウ

《運営委員会からのお知らせ》

① 練習休止中の団費について（6月2日の練習再開日にお持ちください）

3月・4月	3000円	3月24日から練習を再開し4月14日まで実施しました
5月	2000円	5月はまん延防止等重点措置期間で全く練習できませんでした

② 6月の練習

水曜練習	清水T	小坂T	二宮T	中山T	会場
6月2日	○	○			吉野町プラザホール6時～
6月9日		○	○		吉野町プラザホール6時～
6月16日	○	○			吉野町プラザホール6時～
6月23日		○	○		吉野町プラザホール6時～
6月30日		○		○	吉野町プラザホール6時～

《リレーエッセイ》

テナー2 安部哲夫

子どもの頃から、人前で歌を歌うことが嫌で、授業で歌わされた以外は、歌ったことがあまりありませんでした。歌が嫌いなわけではなく、人前で歌うことが苦手なだけです。

そんな私が合唱団「道」に入団したのは、交通事故にあい退団してしまったOさんの勧めでした。入団して約10年近く経ちましたが、当時私は遺伝性の喘息に悩まされていました。大きな声で歌を歌うことは、ひょっとすると呼吸器を強くして、喘息に効果があるかもしれないと思い、また退職後の趣味の一つにもなるかも、と思い入団しました。入団当初は大きな声を出すと咳き込むため、小さな声でしか歌えませんでした。勿論歌を歌う習慣がないため、音が取れず音程を外すことが多かったと思います。そんな訳で合唱が好きで入団した訳ではありませんので、当時は嫌になればいつでも退団しようと考えていました。

そんな私が10年近くも続いているのは、自分でも不思議です。

2014年に有志でFAKT4を結成し、男声カルテットの練習を始めましたが、淵さんの指導で毎月厳しい(?)練習を重ね、音が少し取れるようになり、合唱の面白さや楽しさが分かりかけてきたことが大きいと思います。勿論団員の皆様との心温まるお付き合いも、合唱団の居心地の良さも、長続きしている大きな要因です。喘息はお陰様で、入団して2年程で発作が出なくなり、薬と嬉しいお別れをすることができました。

ところが、コロナ禍で合唱団の練習が中止と再開を繰り返すようになり、再開された発生練習時に咳き込むようになりました。声帯や呼吸器をあまり使わない生活をしているためでしょう。ワクチン接種が進み、早く気にせず皆さんと大きな声で歌える日が来ることを、切に願っています。

皆さん！その日が来るまで、コロナに負けず頑張りましょう!!

運営委員会 6月2日(水)午後2時30分～ 県民サポートセンター 708号室